

日本社会保障法学会会報 第19号

発行日：2005.9.1 発行人：井上英夫 編集人：木下秀雄 発行：日本社会保障法学会
事務局住所：〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学法学部気付
Tel/Fax：06-6605-2322 E-mail：social@law.osaka-cu.ac.jp
URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jassl/index.html 会員数：628名（2005年9月1日現在）

代表理事就任の挨拶 代表理事 井上英夫（金沢大学）

学会の真価が問われている

来年12月まで代表理事を務めさせていただくことになりました。会員の皆様の学会活動がスムーズに進むようお手伝いが出来ればと思っていますので、宜しく願いいたします。

衆議院が解散され、総選挙の公示目前です。「郵政民営化」選挙とも言われていますが、この会報がお手元に届く頃は結果が判明しているでしょう。選挙の結果はどうあれ、社会保障は「改革」の大波にさらされるでしょう。生活保護、年金、医療、介護、福祉等各分野で改革が必要なことは間違いありません。この激動期に、「社会保障法に関する研究を推進し、国民の健康にして文化的な生活の確保に貢献することを目的とする」（規約第3条）学会としてどう活動し、発言していくのか、まさに真価が問われています。

1982年発足の学会も来秋には50回の記念大会を迎えます。

現在、理事会・企画委員会が一体となって準備しています。秋季総会には具体的なプランが提示されますが、49回・50回とセットで構成されます。49回大会では、学会内部の成果と課題を各分野において確認します。その際、社会保障法の理念、原則を問うことになりますが、とくに最近の立法、行政の動向を踏まえ、「自立」を中心として議論を展開します。50回大会では、法学、社会福祉、社会政策学等他分野とのセッションを予定しています。

4半世紀の歴史を経て、会員も600名を超えました。日本社会保障法学会も研鑽・蓄積の時代を経て、外部へ積極的に発信する、いわば他流試合の段階に達したと思います。特に社会保障「改革」に対する政策提言と国際交流とりわけアジアや発展途上国との交流・協力を積極的に取り組む時代を迎えていると考えますが、如何でしょうか。記念大会企画そして学会運営に対して皆様の積極的なご意見とご協力がいただければ幸いです。

第48回秋季大会開催案内 事務局長 木下秀雄（大阪市立大学）

日本社会保障法学会第48回秋季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

- ・日 時：2005年10月15日（土） 9：30～17：00
- ・会 場：岡山大学創立五十周年記念館（〒700-8530 岡山市津島中一丁目1番1号）
大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。
総会・シンポジウム会場：同館多目的ホール
- ・お問い合わせ先 Tel：（086）251-7490（西田研究室）
なお、当日は（086）251-7057（記念館事務室）をお願いいたします。

・大会次第（予定：内容等の詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください）

受付開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9:00
開会・・9:30

個別報告

第一会場(同館多目的ホール)

清水泰幸(東京都立大学大学院)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9:30～10:30
「フランスにおける社会保障上の無拠出給付と内外人平等原則」
司会：江口隆裕（筑波大学）

第二会場(同館2階会議室)

棟居(椎野)徳子(金沢大学大学院)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9:30～10:30
「国際人権法における健康権(the right to health)保障の現状と課題」
司会：井上英夫（金沢大学）

共通テーマ・シンポジウム

「社会保険の変容と社会保障法」

司会：河野正輝（熊本学園大学）
良永彌太郎（熊本大学）

阿部和光(久留米大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10:40～11:15
「社会保険の法的検討の意義」
井原辰雄(九州大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11:15～11:50
「社会保険における被保険者の位置付け 医療保険法を中心に」
石田道彦(金沢大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11:50～12:25
「社会保険法における保険事故概念の変容と課題 予防給付を手がかりに」

休憩(昼食)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12:25～13:25

総会・・13:25～13:55

開催校挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13:55～14:00
奨励賞審査委員会報告および奨励賞授与・・・・・・・・・・・・14:00～14:10

共通テーマ・シンポジウム(続き)

西田和弘(岡山大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14:10～14:45
「社会保険サービス給付の給付水準にかかる規範的検討 医療保険を中心に」
丸谷浩介(佐賀大学)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14:45～15:20
「社会保険の費用負担 保険料負担軽減とその効果を中心に」

休憩・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15:20～15:35

シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15:35～17:00

大会終了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17:00(予定)

同封の大会出欠確認はがきに必要事項を記載の上、**2005年10月1日(土)**までにご返送いただきますようお願いいたします。大会に出席されない方も、**2006年発行予定の会員名簿に掲載を望まない場合にはその旨の意思表示をしていただく必要がありますので、必ずご返送くださいますようお願い申し上げます。**

昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2.昼食」の「要」に をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付前にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。昼食休憩時になりましたら、創立五十周年記念館2階会議室前におきまして、昼食券と引き換えに昼食を受け取ってください。

本大会では、事務局の都合等により、託児コーナーは設けませんのでご了承ください。

懇親会に参加される方は、大会出欠確認はがきの「3.懇親会」の「出席」に をつけてください。懇親会券は大会当日受付におきまして現金と引き換えにお渡しいたします。懇親会の会費は、5,000円です。懇親会会場の場所は、南福利厚生施設(ピーチ・ユニオン)です。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 秋元美世(東洋大学)

第48回大会では、午前中、まず2名の会員による個別報告が平行して行われます。報告者、報告テーマについては、本会報の大会次第をご覧ください。2つの報告が同時に行われますので、会場等についてはご注意下さい。個別報告終了後、引き続き、第48回大会のシンポジウムを行います。シンポジウムの共通テーマは、「社会保険の変容と社会保障法」です(シンポジウムでの報告者、報告題目については、大会次第の方をご覧ください)。九州地区の会員を中心にして、シンポジウムに向けた研究会などが精力的に行われています。多くの会員の方の参加をお待ちしています。

さて、来年秋に開催される大会で、いよいよこの社会保障法学会の大会も、50回を迎えることとなります。そこで、企画委員会では、来年の春、秋に開催する49回・50回大会については、それを記念する大会として位置づけて企画を検討しています。まず、来年春の大会では、ここ何年かの社会保障法学会の大会などを通じて蓄積されてきた議論を理論的に整理する作業を行ってみたいと考えています(理論的な到達段階を確認し、これからの議論の出発点を提示する作業)。こうした作業は、本学会が編集し、2001年に刊行した『講座社会保障法』(全6巻)でも行われているわけですが、ちょうど来年が講座刊行から5年という節目の年でもあり、また書籍という形としてだけではなく、学会の大会として行ってみることも、記念の仕方としてはそれなりに意味があるのではないかと考えた次第です。もちろん1つの大会だけで、理論的蓄積を全面的にとりあげることは不可能ですので、具体的には「自立」ということをキーワードにして、さらに「所得保障法と自立」、「医療保障法と自立」、「生活保護法と自立」、「社会福祉サービス法と自立」という分野に分けて作業を行うことにしました。現在、理事会の協力もいただきながら拡大企画委員会を組織して準備を進めております。なお、可能であれば、各分野毎に公開の研究会なども開催したいと考えております(実際に研究会が開催される場合には、学会のホームページ上で日時・場所等についての情報を提供いたします)。そして来年秋の50回大会では、他の法学分野や学問領域との対話を通して、社会保障法学の固有の役割とか存在意義を考えてみるということで準備をすすめています。

個別報告については報告者を随時募集しております。個別報告を希望する会員は、理事または企画委員にお申し出下さい。個別報告をしていただく場合には、本学会の会員を中心に組織された各地の研究会で準備報告をしていただくことになっております。地域的に組織立った研究会がない場合にも、企画委員会から最寄りの研究会をご紹介しますので、遠慮なくご相談ください。

また、企画委員会では、今後の企画立案に役立てるため、若手学会員（４０歳未満）の文献リストを作成し、会報の紙面を利用して公表しています。２００５年１月以降に発表された論文や著書がありましたら、現物またはコピーを下記の企画委員長宛にお送りください（なおそれ以前のものでも、前号の会報で文献リストに掲載されていないもの ただし、２００４年１月以降のもの であれば構いませんのでお送り下さい）。なお、お送りいただいた論文や著書の現物およびコピーは返却いたしません。

〒１１２－８６０８ 東京都文京区白山５－２８－２０
東洋大学社会学部 秋元美世 宛

若手会員文献リスト（２００５年９月現在のもの、著者五十音順）

著者	題目	出典	発行年月
葛西まゆこ	アメリカにおける福祉改革：日本における生存権訴訟への示唆	法政論叢 41 巻 1 号	2004 年 11 月
葛西まゆこ	生存権の規範的意義：憲法 25 条の裁判規範性をめぐる予備的考察	法学政治学論究（慶応大学大学院）	2005 年春号
清水泰幸	フランスにおける社会保障給付と内外人平等原則（１）（２・完）	東京都立大学法学会雑誌 45 巻 1 号、2 号	2004 年 7 月、 2005 年 1 月
清水泰幸	判例研究（生活保護・学資保険訴訟上告審判決）	季刊社会保障研究 40 巻 3 号	2004 年 12 月
田中明彦	国民皆年金と障害年金保障	賃金と社会保障 1378 号	2004 年 9 月
田中明彦	「国民皆年金」実現への途：学生障害無年金者京都訴訟への意見書	学生障害無年金者京都訴訟を支える会編『あつてはならない存在・学生障害無年金』所収	2004 年 1 月
古畑 淳	判例研究（川越市障害児保育入所拒否国家賠償請求事件）	季刊教育法 144 号	2005 年 3 月

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 秋元美世（東洋大学）

学会誌投稿論文（「社会保障法」第 21 号掲載予定）を募集しています。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。募集要項は、先の会報でお知らせしましたが、念のため、再度掲載いたしておきます。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、編集委員会で決定します。
- 4 採用に当たっては、より一層に内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、12,000 字（200 字詰め原稿用紙 60 枚）以内とします。

6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求して下さい。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避け下さい。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いず、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用して下さい。

7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。

8 投稿論文は、コピーを含めて3部提出して下さい。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。

9 締切は2005年9月末日（必着）とします。

10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付下さい。

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学法学部気付

日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長代理 品田充儀（神戸市外国語大学）

学会誌21号の原稿締切は、例年通り、12月20日です。関係する会員の皆様には締め切り厳守をお願い致します。47回春季大会で御報告いただいた皆様には、執筆要領を配布していると思います。48回秋季大会でご報告予定の皆様には、執筆要領を学会時に配布する予定です。よろしくお願ひ申し上げます。なお、学会当日の昼食休憩時間を利用して、編集委員会を開催する予定です。編集委員会の委員におかれましては、具体的な日時等につきましてはメールでお知らせする予定ですのでご承知おき下さい。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

2005年度5月定例理事会

- ・日時：2005年5月27日（金）16:00～18:00
- ・場所：慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟1階A会議室
- ・議事内容

第47回春季大会の運営について（略）

第48回秋季大会の運営について（略）

第49回春季大会以降の運営について（略）

学会誌編集委員会より

品田会員より、学会誌第20号についての報告がなされた。

国際交流委員会より

久塚会員より、委員を新たに選任することについての報告がなされ、了承された。

日本学術会議関連事項について

河野会員より、最近の日本学術会議関連の動きについて報告がなされた。

会計・予算報告

脇田会員より、2004年度決算案、2005年度予算案の報告があり、了承された。

入退会者報告（略：入退会者紹介欄をご覧ください）

2005年度7月定例理事会

- ・日時：2005年7月16日（土）16：00～18：00
- ・場所：筑波大学大学院大塚地区第一キャンパス
- ・議事内容
 - 第48回秋季大会の運営について（略）
 - 第49回春季大会の運営について（略）
 - 第50回秋季大会以降の運営について（略）
 - 学会誌編集委員会より
 - 品田会員より、学会誌第21号についての報告がなされた。
 - 国際交流委員会より
 - 林会員より、英文パンフレット、学会後援についての報告がなされ、了承された。
 - 日本学会議関連事項について
 - 林会員より、最近の日本学会議関連の動きについて報告がなされた。
 - 奨励賞について
 - 久塚会員より、2005年奨励賞受賞作の報告がなされ、了承された。
 - 会員名簿について（略：事務局からのお知らせ欄をご覧ください）
 - 入退会者報告（略：入退会者紹介欄をご覧ください）

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

会員名簿掲載の可否に関する意思表示について

2005年は本来ですと会員名簿発行の年ですが、個人情報保護の観点から、会員名簿を発行するか否か、発行する場合の会員からの同意の取り付け方について理事会にて検討して参りました。その結果、会員名簿は2006年に発行することとし、今回同封した大会出欠確認はがきにて、会員名簿への掲載の可否と掲載を望まれない事項についての確認をさせていただくことになりました。よって、大会に出席されない方も、掲載を望まない場合にはその旨の意思表示をしていただく必要がありますので、必ずご返送くださいますようお願い申し上げます。

英文パンフレットについて

2004年の秋季大会にて、学会を英文で紹介するパンフレット用の表紙と学会ロゴについて皆様のご意見を伺いましたが、その英文パンフレットがついに完成いたしました。同封いたしましたので大いにご活用ください。なお、事務局に残部がありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

次回以降の学会大会について

第49回春季大会は、2006年6月3日（土）岩手大学にて開催される予定です。

学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

入退会者紹介

日本社会保障法学会事務局

- 2005年5月27日、7月16日の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。

(順不同、敬称略)

花岡泰則(岡山県社会保険労務士会)

風間朋子(首都大学東京大学院)

丹羽 徹(大阪経済法科大学)

川久保寛(北海道大学院)

関根由紀(神戸大学)

慮 蘭淑(九州大学院)

長 千春(西九州大学)

曾我千春(東海女子短期大学)

渡邊かおり(金沢大学院)

村田拓司(東京大学)

日比野正興(全国公的扶助研究会)

安部薫道(北海道大学院)

有森美木(筑波大学院)

宇野木康子(熊本学園大学院)

金 碩浩(日本福祉大学院)

斎藤尚子(大阪市立大学院)

加美嘉文(大阪体育大学)

牛 旭東(尚美学園大学院)

鈴木美輪(北海道大学院)

- 2005年5月27日、7月16日の定例理事会で、次の方々の退会が報告されました。

(順不同、敬称略)

岩見恭子、野沢 浩、平井澄子、池田 栄、仙波浩幸、渡 寛基